



共生社会を 東京2020の 遺産（レガシー）に



福島市から始まる東京2020



“復興五輪”の象徴

- ・ソフトボール競技（6試合）
開会式前 7/21・22
- ・野球競技（1試合）7/28

オリパラ遺産創出のまちづくり



1 スポーツのまちづくり



2 共生社会の実現 



3 多文化共生の推進



4 健康づくり

↳ beyondプログラム導入



5 賑わいのまちづくり

共生社会実現への体制づくり（1）



1. R1.12 共生社会ホストタウンへ
R2. 3 先導的共生社会ホストタウンへ

- ・スイス選手への
応援動画
- ・スイス共生社会の
取組をパネル紹介
- ・パラリンピアンとの
交流を予定



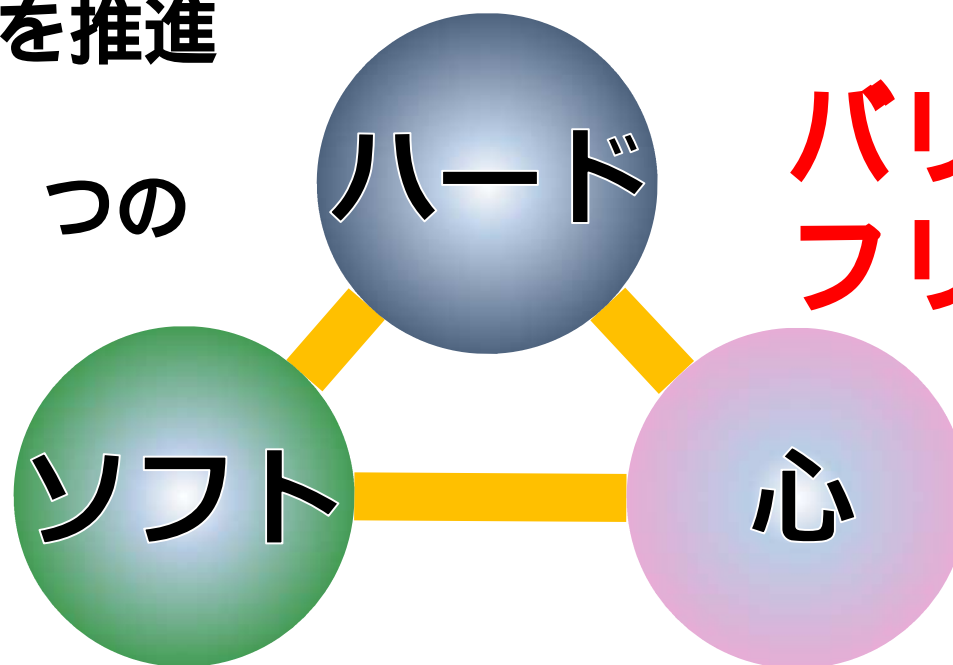
共生社会実現への体制づくり（２）



3. バリアフリー推進パッケージ（R1.7）

ハード・ソフト・心のバリアフリー
を推進

3 つの



共生社会実現への体制づくり（3）



4. 障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例（R2.4）

5. 多文化共生のまち福島推進指針（R2.8）

6. バリアフリー推進パートナー

- R1.9 発足
- 263団体 参加



まちのバリアフリー化（１）



1. まち歩き総点検 / ワークショップ

障がい者、関係機関等が協働で点検
解決策を検討



まちのバリアフリー化（2）



2. 誘導ブロック / 点字案内版整備



3. バリフリーマスタープラン策定 道路、駅のバリアフリー化を推進

ソフトのバリアフリー化（１）



1. 手話言語条例（H31.4施行）

2. パラスポーツの振興



- ボッチャ等の配置
- 市民総参加型のイベント（障がいの有無、年齢、男女、国籍に関係なく）⁸

ソフトのバリアフリー化（２）



3. 障がい者の社会参加と交流の場創出



- いきいき！ふくしマーケット
- 農福連携の推進

心のバリアフリー化（１）

1. 心のバリアフリー普及啓発



- ・ 小学校などで出前講座を実施

心のバリアフリー化（２）



2. ヘルプマーク・ヘルプカード



- ・ 福島市独自デザインのヘルプカード配布

共生社会を遺産（レガシー）に



多様性の尊重

市政5原則の一つに

共生社会の施策を市総合計画の中に
盛り込み推進

東京2020の遺産として、**共生社会**
の実現に取り組み、誰もがいきいきと
暮らせる福島市を目指します！